NEWS RELEASE

SVP JAPAN

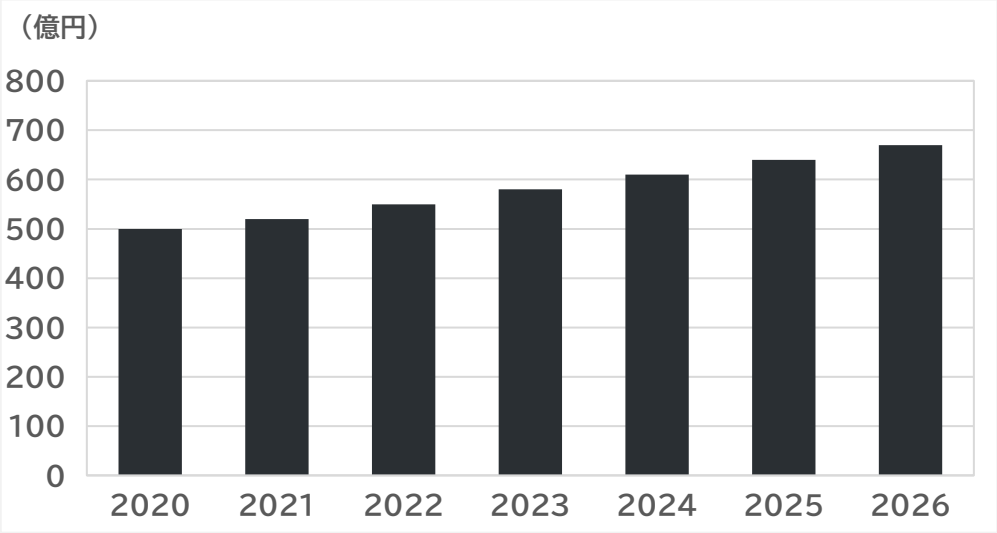
2024年6月19日
株式会社SVPジャパン

SVP注目市場分析
「デジタルサイネージ」を公開

～あらゆる場所に設置可能、常に最新情報を提供できる次世代広告～

会員制マーケットリサーチサービスを提供している、株式会社SVPジャパン（本社：東京都中央区、代表取締役社長：橋本 雅、以下「SVPジャパン」）は、本日、SVP注目市場分析レポート「デジタルサイネージ-国内市場の現状と将来展望-」を、会員企業向けに公開いたしました。

■デジタルサイネージの国内市場



「デジタルサイネージ」とは、「屋外・店頭・公共空間・交通機関等、あらゆる場所で、ディスプレイなどの電子的な表示装置を使って情報を発信するメディア」を指す（デジタルサイネージコンソーシアム）。デジタルサイネージは、駅や空港、ショッピングモールやホテルなどの商業施設、街頭の大型ビジョンをはじめ、あらゆる場所に設置され、広告や各種の情報提供に幅広く活用されるようになっている。本レポートでは、このデジタルサイネージのシステムの構築に使用される主なハードウェアの国内市場を調査対象とする。

デジタルサイネージの市場規模は、2023年の実績としてメーカー出荷ベースで約580億円と推定される（システムの設計・施工のための費用は含まない）。コロナ禍を挟んで堅調な市場の拡大が続いている。製品別には、液晶ディスプレイが全体の60%近くを占めると推定される。

■デジタルサイネージの市場概況

デジタルサイネージは、従来の看板と異なり、配信日や時間帯ごとに表示するコンテンツを設定することで、よりタイムリーな情報の発信、広告対象の変更などが可能になることを特長としている。カメラの映像などを利用して、広告を見ている消費者の性別や年齢などを把握し、デジタルサイネージに表示する広告を変更するといったマーケティング手法も開発されている。こうしたメリットから、企業の広告ツールとしてのニーズが高まっている他、施設や地域の案内板としての利用も増加している。

最近の市場動向としては、東京オリンピック・パラリンピックに関連した投資などから、2010年代の終盤を通じて好調な市場の拡大が続いた。オリンピック特需の終了と、その後のコロナ禍における投資の減少で2020年は市場が縮小したが、2021年以降は再び市場が拡大傾向にある。

■本レポートの構成

Ⅰ．市場の定義
Ⅱ．市場動向
Ⅲ．市場規模・予測
Ⅳ．マーケットシェア
Ⅴ．参入企業の動向
Ⅵ．業界構造

←レポート全編を見る　クリック

※本サービスのご利用は、
SVP会員様限定でございます。

■購読について/資料ダウンロード・お問い合わせ

本サービスのご利用は、SVP会員様限定でございます。
購読をご希望の場合、当社SVP会員になっていただきますと、定期的に配信する市場調査レポートを全てご購読いただけます。なお、SVP会員は、ビジネス調査に関する、クイックリサーチとプロジェクトリサーチもご利用いただけます。

資料請求

お問い合わせ

■次回のテーマ

7月のテーマは「キャッシュレス決済」と「eコマース」を予定しています。

～SVP注目市場分析レポート更新スケジュール・・・毎月第1・第3水曜日の発刊を予定～

[会社概要]

社名	：	株式会社SVPジャパン
代表取締役	：	橋本　雅
所在地	：	東京都中央区日本橋蛎殻町1-38-9　宮前ビル2F
設立年月日	：	1974年7月1日
事業内容	：	会員制のビジネス情報提供サービス
URL	：	https://www.svpjapan.com/

[本プレスリリースに関するお問い合わせ先]

株式会社SVPジャパン　DX推進部　デジタルマーケティング課
info@svpjapan.com